

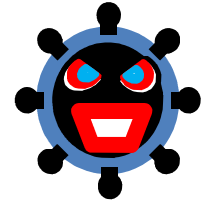
膠原病？ リウマチ性疾患？

病院で使われる言葉には難しいものが多いですね。病気の呼び方も大変難しいです。

膠原病やリウマチ性疾患と呼ばれる病気は、自分の免疫のバランスが崩れることによって生じる何十種類もある病気をまとめたグループの名前です。

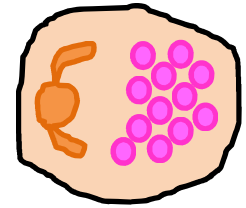
膠原病という言葉は、主に顕微鏡を使った研究から考え出された言葉なので、ここでは症状を中心に考えたリウマチ性疾患という名前で呼びたいと思います。どちらも、ほぼ同じ病気のグループをさす言葉です。

リウマチ性疾患とは



病原微生物

私たちには、細菌やウイルスの感染から体を守るための免疫という仕組みがあります。高度に発達した免疫は、人類が地球上で繁栄するためにたいへん役に立ったと考えられます。その一方で、免疫のバランスが崩れることにより私たち自身の体が攻撃を受け病気に至る場合があります。



白血球

リウマチ性疾患は、免疫のバランスが崩れたために、体のあちらこちらが慢性的に攻撃を受け続けてしまい、症状が出現するようになった病気です。その様な疾患は主なものだけで約30種類、稀な疾患まですべて合わせると100種類を超えて存在します。

主な小児のリウマチ性疾患

成人が罹患するリウマチ性疾患の多くを小児も発症します。
小児の特徴が目立つ場合には「若年性・・・」と呼ばれます。

小児

若年性特発性関節炎(JIA)

全身性エリテマトーデス(SLE)

若年性皮膚筋炎(JDM)

大動脈炎症候群

成人

関節リウマチ(RA)

成人発症スチル病

脊椎関節症(SA)

全身性エリテマトーデス(SLE)

皮膚筋炎(DM)

さまざまな血管炎

リウマチ性疾患を疑う症状

多くの膠原病に共通して認められる症状には、
発熱が長引くまたは繰り返す
関節が腫れたり、痛がる
原因のわからない治りにくい発疹
・・・などがあります

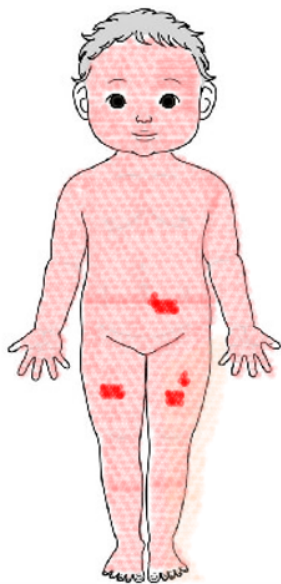
病気を正確に診断し適切な治療を開始する
ためには、それぞれの疾患に特徴的な
より詳細な症状及び検査の異常について
詳しく検討する必要があります。

たとえば・・・

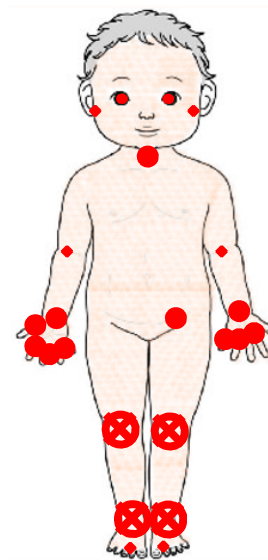
若年性特発性関節炎(JIA)は

バランスの崩れた免疫により、最終的に関節が破壊されてゆく全身の病気です。

発熱が長引くのが
特徴の**全身型**



多くの関節が腫れる
のが特徴の**関節型**



と

に大きく分けて考えられます。

若年性特発性関節炎(JIA)は、小児がかかる、原因不明の最終的に関節が破壊される病気が含まれています。現在では7つの病型に分類されています。

詳しくお知りになりたい場合はJIAのページへ。

